

**皆様に地域課題を募集したところ、
10題の応募がありました。**

ご応募ありがとうございます♡



到着順に登録番号①～⑩まで振っています。



**内容から、3つのジャンルに分けました。
ご紹介は、順不同で、3つのジャンル別にご紹介
します。**

1つ目

**いろいろな立場からの
暮らしやすさに関わる課題
(道路、交通機関、移動等)**

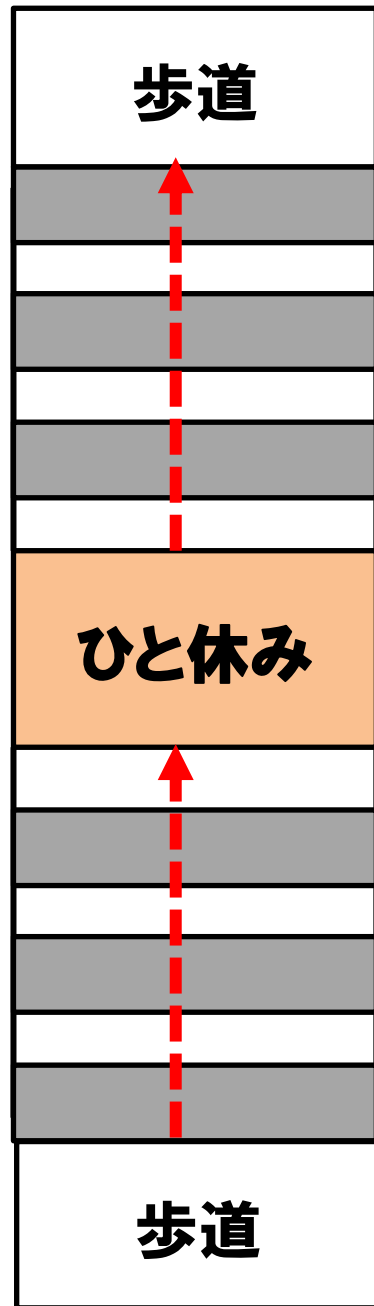
登録番号⑥

テーマ:信号機について

車が通る時間は十分なのに、人間が青信号で渡る時間 なぜ短いの？
年寄りや、半分渡り、一休み、次の信号を待ってまた渡る。
こんな信号のことで、年中、なぜかなと思っています。少し、人の渡る時間を長くしてほしいな。。

ニックネーム

独居老人 妙子(みょうこ)さん
聴力障害 もうすぐ85歳になる



第1回目交流会（H30.8.4）での発言、意見等

1. いろいろな立場からの暮らしやすさに関わる課題(道路、交通機関、移動等)

登録番号⑥ お年寄りにとっての信号機(青信号で渡る時間)

a. 【下松市から】

押しボタンを押すと、少し長くなるそうです。

⇒⇒(補足)平成30年11月現在

歩行時間延長信号機用小型送信機（シグナルエイド）が使用できる信号機は、市内に7か所。

交通弱者用押しボタン（白色の箱）は、通常の歩行者用押しボタン（黄色の箱）より、横断歩道歩行可能時間が、1.5倍長くなる。ただし、市内全ての横断歩道に設置されているわけではない。

横断歩道の青信号の時間は、市内一律でなく、その場所場所の交通状況等を加味して、押しボタンに関係なく、長めに設置してある場所もある。

押しボタンを押し続けて、長くなることはない。

b. 【当事者の方から】

お年寄りや体の不自由な人用の押しボタンが増えていったらいいと思う。

c. 【場内の方から】

登録番号⑥で上げられた横断歩道は、途中で休める空間があり、ありがたいという考え方もある。ないところは困る。

登録番号①

テーマ:視覚障害

目の見えない視覚障害者にとって、音や点字ブロックは必要なツールです。

横断歩道に、ピヨピヨとカッコウの音が東西南北で音が違うので、どちらの信号が青で進めるのかがわかりますので付けてほしいのと、

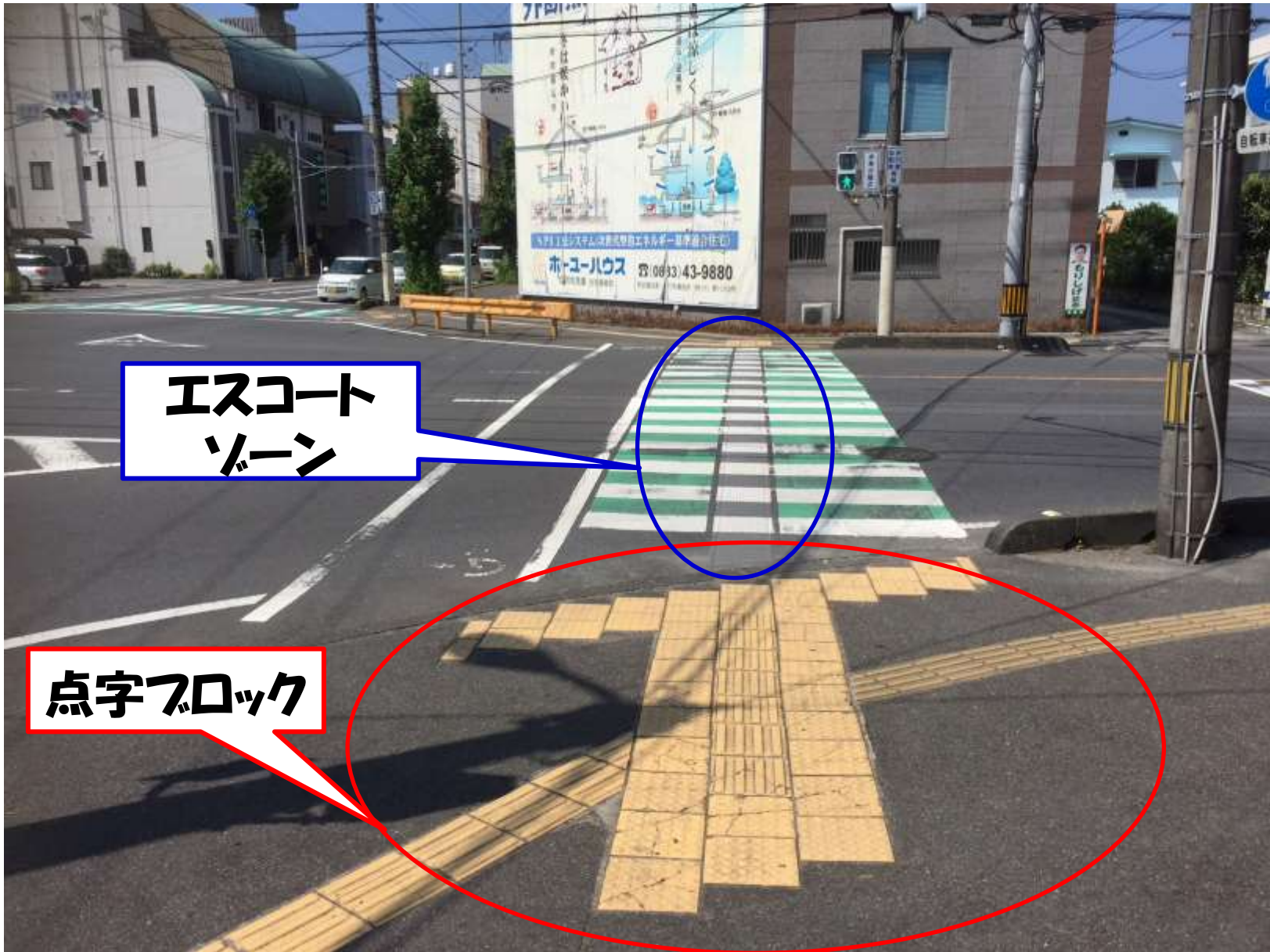
横断歩道にエスコートラインを付けていただくと歩行しやすくなります。

ニックネーム

アップル さん

(参考)

点字ブロックとエスコートゾーン



エスコート
ゾーン

点字ブロック

第1回目交流会（H30.8.4）での発言、意見等

1. いろいろな立場からの暮らしやすさに関わる課題(道路、交通機関、移動等)

登録番号⑦ 視覚障害のある人のための点字ブロック、エスコートライン(ゾーン)

a. 【当事者の方から】

点字ブロックはできるだけまっすぐ付けてもらうとありがたい。目の見えない人は、点字ブロックがくねくね曲がっていると、まっすぐ歩くのに点字が外れていってしまうので、歩きにくい。ここの公民館の外も、実際、歩きにくい。

b. 【当事者の方から】

エスコートゾーンは、（横断歩道を渡る際、）誤ってねじれて向こう側に行かないよう、まっすぐ行くためのゾーン、だんだん増えているけれど、もっともっと増やしてほしい。

登録番号⑨

テーマ:公共交通機関 & 課題改善のアイデア

2017年10月の防長バスのダイヤ改正で、午後4時台の徳山駅から下松駅のバイパス経由のバスが突然なくなり、施設からの帰りのバスに利用されてた方が困っています。

●徳山中央病院前から、午後4時台のバスで下松駅まで帰ってきましたが、そのバスがなくなり、1時間施設で待たせて貰って、午後5時42分のバスで帰ってきています。山陽本線も考えたのですが、やはり心配なので変更する事が出来ません。母も仕事があるので、迎えに行く事も出来ません… 慣れてはきましたが、毎日1時間帰りが遅くなるのは、負担みたいです。(下松市在住 通所施設に通っているお子さんをお持ちのお母さまAさんより)

●我が家は 1時間以上 帰るのが遅くなるのは 毎日の生活には 大変なことだと思います、施設外就労で、今まで帰りは施設に戻っていたが、施設にもどらず 徳山医師会病院から直接 中央線経由 慶万のバス停にのることにしました。バス停・通勤方法を変えることは 普通は 何でもないようなことかもしれませんが、また 何度か 親子で練習をしたり 親子で不安 心配な日々があります。親も 年を重ね 変化に順応するのが難しくなっています。公共交通機関は 運転できない障害のある方にとって、とても大切です。変更がある度に何とか考えながら工夫はしていますが、障害のある方が困っていることもご理解をいただけたらいいなと思います。(下松市在住 通所施設に通っているお子さんをお持ちのお母さまBさんより)

ニックネーム はるひ さん

第1回目交流会（H30.8.4）での発言、意見等

1. いろいろな立場からの暮らしやすさに関わる課題(道路、交通機関、移動等)

登録番号⑨ 障害のある方にとっての公共交通機関の時刻変更

a. 【登録番号⑨の内容と同様の経験をした当事者の方から】

ダイヤ改正の影響で、以前と比べ、就労先への行き帰りにすごく時間がかかるようになり、心理的に不安なこともあるが、友達に連絡取るなどして励まされながら通っている。

b. 【当事者のお母さまから、上記 a に対しての補足】

バスのダイヤ改正で、それまで乗り換えずに行けていた就労先が、就業時刻に間に合うために乗り継ぎや乗継のために横断歩道を渡るなど移動も必要になった。バスが定刻より遅く到着し、繋ぎのバスに間に合わないこともあり、彼の頭には常に間に合うだろうか、もし遅れたら就労先に何と言おう・・・という不安と闘いながら、日々通っている。

c. 【上記 b に対して、過去に東京で暮らしていた場内の方から】

東京だったら、例えば、最終電車が遅れたら、次の乗継電車も待ってくれる。仕事に間に合うようバスの乗り継ぎも考えてあるといいけれど・・・、お気持ちがよくわかる。

d. 【子育て中のお母さまから】

免許を持たない子連れの母親としても、同感。つなぎの待ち時間が長いと大変。あんなに車はビュービュー走ってるんだから、ヒッチハイクみたいに、手を振れば、乗っけてくれんかねえと思うことがある。

e. 【当事者の方から】

個別対応に介護タクシーもあるが、高額。行政が予算を割くことはできないのか・・・

登録番号③

テーマ:行動支援

療育手帳B 中度障害

○病院、映画、買い物等、親が同行できないときに、同行支援してほしいが、現状は無理と言われた。

親の病気（慢性的な疾病）等体調の悪い時には特に困っている。以前、広島に居たが、広島では可能だった。

○タクシー券を療育Bの者にも、利用可能にしてほしい。

ニックネーム

知的障害 13歳 男 さん

(参考) 障害者手帳について

身体障害者手帳

1級～6級



療育手帳

AとB



精神保健福祉手帳

1級～3級



第1回目交流会（H30.8.4）での発言、意見等

1. いろいろな立場からの暮らしやすさに関わる課題(道路、交通機関、移動等)(続き)

登録番号③ 知的障害のある方の行動・移動支援

a. 【当事者の方から】

(療育手帳を含む障害者手帳の説明<スライドで手帳の現物を紹介>の後、)

カードタイプの療育手帳を提示した際、これは、何の割引券かなと言われたことがあった。療育手帳のカードタイプの部分も、よく周知されるとよい。

b. 【広島をよく知る当事者の方から】

(広島市ではサービス対象者であったが、本市では対象とされていないことに対して)

タクシー券などのサービスの対象範囲は、地域で違う・・・、広島市は福祉に力を入れている市と思う。

2つ目

**目に見えない・コミュニケーション
に関わる課題
(発達障害や精神障害等)**

登録番号⑧

テーマ:精神障害

偏見の無い世界へ

精神障害のうつ病、双極性障害、統合失調症などの病気は、脳内の伝達物質の制御がうまくできてないために出る症状です。つまり、脳内の伝達物質が多すぎたり、少なすぎたりすることで起こる病気で、誰でもなり得る病気なのです。

ニックネーム アップル さん

第1回目交流会（H30.8.4）での発言、意見等

2.目に見えない・コミュニケーションに関わる課題(発達障害や精神障害等)

登録番号⑧ 精神障害・・・偏見のない世界へ

a.【当事者の方から】

統合失調症は、脳の伝達物質が多すぎてなる病気で、幻聴や妄想などが出現します。心不全や不整脈などと同様、誰にでも起こりうる病気です。脳の病気で偏見になりがちだけど、身体の病気と同じだと伝えたい。

b.【一般の方から】

精神障害のうつ病、双極性障害、統合失調症などの病気をわかっているようでわかっていない、どう違うのか、どう対応すればいいのか知りたい。⇒場内にいた相談支援専門員から、簡単に各病名について概略の説明あり。

c.【当事者の方から】

みんながいいとか、楽しいと思うことが自分にはそう思えず、やる気が出なかったり、みんながしかたないよねと思うことをどうして?と、とことん突き詰めて考え、しつこく言ったりして、孤立してしまい、周囲からどう思われているかを気にして落ち込んでしまう。

d.【当事者の方から】

自分の場合、幻聴はあるけれども、克服していて、自分の幻聴の特徴をよく知っており、実際に耳に聞こえる声と、幻聴との区別がついていることで、普通に生活できている。

登録番号⑩

テーマ:自閉症、発達障害の方と共に

自閉症の方は、言ってわかってるように見えても、わかってない、聞いてない、いくつも言われるとどれからしたらいいかわからなくなる、いっぱい言われると忘れる
言葉は消えてしまう 勘違いしてしまう などなどあります。

世の中のルールがわかりにくい、その場の様子がわかりにくいので、短い言葉でわかりやすく伝えたり、書いて説明をしてもらえると助かります。

お話しメモ、ふきだしメモ で書いてもらえると、伝わりやすいです。

ルール違反をしていたら、その時に、わかりやすくいけない理由をつけて説明してもらえるとありがたいです。

ニックネーム はるひ さん

登録番号④

テーマ:ことばの訓練

現在、周南養護学校(現 周南総合支援学校)より鼓ヶ浦整肢学園(現 鼓ヶ浦こども医療福祉センター)のことばの教室に通っている。

発声、声の出し方から訓練を受けているが、幼児の訓練は、人数が多く、順番待ちだと聴いている。

鼓ヶ浦以外でも、専門的な訓練を受けれるところを増やせないのか？

ニックネーム 知的障害 さん

第1回目交流会（H30.8.4）での発言、意見等

2.目に見えない・コミュニケーションに関わる課題(発達障害や精神障害等)

登録番号⑩ 自閉症・発達障害のある方とともに

登録番号④ ことばの訓練

◆登録番号⑩と登録番号④を一緒に読み上げて、意見を伺った。

a. 【相談支援専門員より】

「発達障害=話せない,知的障害=話せない」ではない。障害の部分は個人個人で違う。通常は、乳幼児健診等で医療機関を紹介され、フォローされるが、そうでない場合もある。

ことばに関して言うと、ご家族あるいは周囲の気づきが大切と思う。鼓ヶ浦こども医療福祉センター以外に、ことばの教室が下松小学校にあるが、どちらも需要と供給バランスの課題があり、特に幼児期の利用希望児は、待機時間が長い現状がある。言語聴覚士という専門の人材を要するので、急には増やせない。しかし、ことばの発達には、幼児期が特に大事な時期であり、これから知識を伸ばしていく基礎となる部分なので、ジレンマな部分である。

第1回目交流会（H30.8.4）での発言、意見等

2.目に見えない・コミュニケーションに関わる課題(発達障害や精神障害等) (続き)

登録番号⑩ 自閉症・発達障害のある方とともに

登録番号④ ことばの訓練

b. 【初めての子どもさんが3歳の時、突然、発達障害と言われたご両親から】

1人目だから、この子がおかしいのかおかしくないのか、ほんとにわからなくて、不安な気持ちを持ちながら、3歳児健診を受けたら、専門機関を紹介され、発達障害ですとの診断を受けた。その時の心境や今、発達障害をどうとらえているか等を母親の立場、父親の立場から、それぞれに語られ、「発達障害って、生きづらいですか?」という質問を場内に向けてされた。

⇒⇒ c. 【上記 b に対して、当事者の方から】

会社勤めしているが、一度にたくさんの用事を言われると、混乱してしまう。

⇒⇒ d. 【上記 b に対して、当事者のお母さまから】

ご両親のお気持ちはすごくよくわかる。まだ今のように発達障害も取り沙汰されない頃、全く未知の世界で先のわからない状態で、私たちも戦ってきた。幼少期は、すごく多動で、しゃべらないので、幼稚園も付き添って・・・、そしたらすごく話せるようになってわからないものだなあと思った。現在、障害者雇用枠で就労しているが、良く噛み砕いて説明もなく、なぜできないのか、なぜやらないのかと誤解を招きやすい状況や、会話の取り違えで生じる事柄等もあるが、いろいろな人に支援をしてもらいながら、世の中の厳しい現実と向き合い、日々戦っている。

第1回目交流会（H30.8.4）での発言、意見等

2.目に見えない・コミュニケーションに関わる課題(発達障害や精神障害等)（続き）

登録番号⑩ 自閉症・発達障害のある方とともに

登録番号④ ことばの訓練

（続き）

⇒⇒ e. 【上記 b に対して、下松市から】

周りの理解がないために、本人の思いとうまくかみ合わず、嫌な思いをしてうつ状態になったり、疑い深く人の言うことをねじれてとったりすることを二次障害といい、発達障害の育てにくさを2重、3重にするものですが、それをできるだけ最小限にして、楽に子育てできる手立てを10年以上勉強してこられているグループが下松にはある。あじさい勉強会というお母さま方のグループですが、今年度、その方々と「先輩ママとの子育て勉強会」という会を立ち上げ、育児に悩んでおられるお母様方を対象にその手立て(視覚支援)の勉強会を始めた。よろしければ、ご利用ください。

⇒⇒ f. 【上記 b に対して、相談支援専門員から】

一番大変なのは当事者さん、そして、それを一番身近に支えているのはご家族、どちらも、ひとりで抱え込まずに、「相談できる人を探してください。」でなくて、「相談できる専門員がいますので、相談してほしいです」。

⇒⇒ g. 【上記 b に対して、当事者のお父さまから】

発達障害の人には、好きか嫌いか、白と黒の世界しかない。ちょっと嫌なことを言われるとこの人嫌いとか黒の世界になってしまう。これでは、本人がとても困ることになるので、黒と白の間にグレーの引き出しをたくさん作ってあげる。それが療育の世界。経験から、療育は、10歳位までに。大きくなってからでは本人の自覚にもよりますが、難易度が上がる。

3つ目

会の運営についての課題

登録番号①

テーマ:疲れています。笑えません。

会のお世話をして、何年か経ちます。
いろいろお世話になってきたので、出来る限りの事はしようと思います。

だけど、運営していくうえで、助成金を頂けば、書類の提出が必要で、
結構な時間を割いて対応しています。
会議も多く、
私 負担なんですよ。

役割は増え、会員は減り、会員さんの高齢化で仕事も割り振りできず、仕事を
負担が少ないように割り振りすれば、露骨に不満を言われ、
企画した行事で、皆に満足して頂けず、不満のコメントを聞くと、
ハッキリ言って、こんな私も心が折れます。

誰の為の会!

慣習の様な行事も、助成金も考えて。

私 お世話係 辞めてもいいですか?

ニックネーム

さん

登録番号②

テーマ:手をつなぐ育成会 運営・参加について

知的障害の親の会で、役員しています。
会員高齢化で、全体的に元気がありません。
子どもたちの喜ぶ顔が見たくて、いろいろな経験をと、
行事を計画していますが、会員の興味に合わないのか、
参加者は決まったメンバーばかりです。
親の都合、意見ではなく、本人目線で、意欲的に参加
してほしいです。
もっと、子供の先を見通して考えて欲しい(親たちへ)

ニックネーム まあちゃんばあば さん

登録番号⑤

テーマ:同じ困り感の方と話し合いたい

発達障害の講演会でも、「当事者会」が欲しいという声があります。

現実には、山口県内でも、当事者会がありません。特に、就労して頑張っている発達障害の当事者会が欲しいです。

ニックネーム

さん

第1回目交流会（H30.8.4）での発言、意見等

3.会の運営についての課題

登録番号① 疲れています、笑えません

登録番号② 手をつなぐ育成会運営・参加について

登録番号⑤ 同じ困り感の方と話し合いたい というご要望も・・

◆登録番号①と②と⑤を一緒に読み上げて、意見を伺った。

a. 【当事者家族の団体の役員の方から】

一度にあちこちからいろんな書類提出を求められ、総括しなければならないが、自分の仕事と、会の運営と、子どもの子育てとで、ライフバランス的に負担を感じる。代わりに担える人を探すが、自分より年上の方は高齢化が進み、年下の方は職業婦人も多く、なかなかいない。手続き書類等の負担を是正しないと、新会員も増えない。他の団体も同様と思う。

b. 【当事者団体の会長さんから】

人工肛門等パウチという袋を装着した方々の集まりであるオストミー協会でも、高齢化が進んでおり、82歳ですが、後任を受けてくださる方がおられないので、務めています。会員になると、研修会等で勉強にもなるし、交流にもなると思うのですが、外見上、分からないので、隠したがる傾向なのかなと思います。会員同士でいろんな話ができれば、また違うのではないかなと思うので、会員募集はしております。でも、なかなかの現状です。

c. 【下松市から】

下松市内のいろんな会を本日はポスター掲示しております。いずれも会員募集中。持ち帰り用のミニチラシも用意しておりますので、ご活用ください。会員不足、後継者の不在など、会の存続・運営の悩みがある一方で、行政の窓口では、同じ障害の人たちの集まりはないかという問い合わせも頂いております。会員募集と、何か集まりの会はないかと問い合わせる人、接点がないのでしょうか・・。